

2026年度日系社会研修 コース概要

No	23
所管センター	沖縄
分野	その他
研修コース名	映像コンテンツ制作技術
受入人数	2
受入時期	上半期
来日日	2026年7月15日（水）
帰国日	2026年12月29日（火）
提案団体	株式会社沖縄映像センター
提案団体ウェブサイトアドレス	https://ovic.co.jp/
研修員必要資格	特にありません
研修員に必要な実務経験年数	不問
研修使用言語	日本語 スペイン語
日本語能力 （JLPT目安）	N4
英語能力	不問
研修目標	●映像制作における基本的な知識と技術（撮影計画、撮影技法、機材操作、編集）を体系的に習得し、実践的なスキルを身につける。 ●映像作品の目的・視聴者を意識し、構成や伝達手法を工夫した映像制作を行う力を養う。 ●自らテーマを設定し、取材・撮影・編集を通じて、1本の映像作品を自主的に企画・完成させる。 ●映像を通じて地域社会や歴史・文化を発信する意義を理解し、帰国後においても地域やコミュニティの記録・広報を持続的に実施する力を育成する。 ●沖縄滞在中の経験や学びを自国の県系社会に還元するだけでなく、映像コンテンツを通じてウチナーネットワークの活性化に貢献する担い手となることを目指す。
期待される成果 （習得する技術）	①映像制作に必要な機材（カメラ、マイク、三脚、照明等）の基本的な操作スキルの習得 ②撮影目的や視聴者を意識した構成づくり、取材・インタビュー企画、撮影計画の立案力の向上 ③映像編集ソフトを用いた基礎的な編集技術（カット編集、音声処理、字幕・ナレーション挿入等）の習得 ④自主的な映像作品の企画・制作・発信までを一貫して行う力の習得 ⑤習得した技術を活用し、帰国後に地域の活動記録・広報・文化発信を行うための実践的応用力の育成
研修計画（内容）	①ディレクション・構成についての座学 ②現場体験（撮影現場・編集作業） ③実技（自らテーマを決めて、撮影編集を行う） ④発表 制作したコンテンツを発表し、集大成を披露する。
本研修実施の意義 現地日系社会への裨益効果	本研修では、現地日系社会における若手世代を対象に、映像記録の基礎技術から作品制作までを段階的に指導し、自らの手で「移民の証言」や「現地コミュニティの姿」を記録映像としてまとめる力を育成する。 具体的には、撮影機材の基本的な操作方法の習得から始まり、映像編集ソフトの扱い、構成・ナレーション・インタビューの手法など、映像制作の一連のプロセスを体系的に学び、最終的には一本の映像作品を完成させることを目指す。 また、沖縄滞在中には伝統文化・行事の撮影・編集にも取り組み、完成した映像はスペイン語・ポルトガル語など現地語で編集・発信することを通じて、海外のウチナーンチュコミュニティが求める「沖縄」の情報提供にも貢献できる。 さらに、研修員が帰国後に自国の県系コミュニティを撮影・発信することで、沖縄県民にとっても「世界のウチナーンチュ」の姿を視覚的に知る機会となり、多くの沖縄県民の目に止まると考えている。
応募希望者への特記事項	宿舎はJICA沖縄を予定。立地設備等は照会者に連絡します。